

# 知 事 談 話

平成25年3月19日

4月1日付の人事異動を発表いたします。

平成25年度は、5年間を実施期間とする「長崎県総合計画」の3年目、知事としての任期4年目に当たり、「人が輝く、産業が輝く、地域が輝く長崎県づくり」の実現に向けて、一つでも多く県民の皆様に具体的な成果をお示しできるよう、全職員一丸となって全力で取り組んでいく必要があります。

依然として県内の雇用・所得環境は厳しい状況にあり、先ずは、国と歩調を合わせ、地域経済を下支えする公共事業などの経済対策にしっかりと取り組んでまいります。

また、「人を大切に作る県政」を県政運営の基軸に据え、医療、福祉、介護、子育て、教育等のきめ細かな支援策を講じてきたほか、総合計画の各種施策や政策横断プロジェクトの推進により、事業の具体的な成果が少しずつ現れてきていると実感する一方で、県民所得の低迷、人口減少やしまをはじめとする地域活力の低下など、依然として構造的な課題に直面しております。

こうした長年にわたる県政の構造的な課題に対して、その解決に向けた道筋を少しでも明らかにし、本県の未来を切り開く新たな一歩を踏み出すことができるよう、今後の成長につながる付加価値の高い産業群の構築、アジア・国際戦略や「しまは日本の宝」戦略の推進、地域発の地域づくりの取組みなど、各種施策やプロジェクトを部局間の連携を一層強化しながら積極的に展開していく必要があります。

このように県政が抱える様々な課題の解決や目標達成に向け、組織と職員の総合力を活かしながら、具体的な諸施策を積極的かつ効果的に推進するため、所要の組織改正並びに人事異動を行うこととしました。

組織改正については、平成26年の長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会の開催に向けて体制を強化するとともに、行幸啓等に対応するための体制整備を行ったほか、EVプロジェクトとグリーンニューディールプロジェクトの効率的かつ効果的な執行、農山村振興対策の一元的な実施、物品の調達、管理及び指導と会計事務の指導の一元化など、新たな行政ニーズへの対応や効率的・効果的な体制づくりを基本に、別紙のとおり行いました。

人事異動については、行政の継続性と専門性を保ちながら様々な課題の解決や目標達成に向け、効果的・効率的に取り組んでいけるよう、一定必要な期間在職させることとし、合わせて、職員の意向、適性、経歴などを見極めながら、職員の専門性や総合力を活かせるような適材適所の人事配置に努めました。

特に、部長級職員の異動を小規模なものに止めるとともに、県政の構造的な課題に対応するため、県民所得の向上や地域活性化に取り組む主要な部署においては、可能な限り職員を継続して配置することに意を用いました。

また、女性職員の登用については、意欲と能力のある女性職員がこれからの管理職としての役割を早期に担えるよう、課長補佐職への登用に意を用いるとともに、研修派遣等の拡大による若手女性職員の資質向上に努めました。

このほか、市町との連携をより一層深め、県と市町とが地域の課題を一体となって解決していくため、引き続き、県・市町職員の人

事交流に取り組むとともに、九州各県との人事交流や語学研修派遣の拡大を図り、職員の人材育成に努めました。

また、公立大学法人における学生支援を強化するため、その業務の責任者に課長級職員を派遣しました。

人事異動の主なものは次のとおりであります。

- ① 永川 重幸<sup>えいかわ しげゆき</sup> 企画振興部長の勇退に伴い、その後任に坂越 健一<sup>さかこし けんいち</sup> 文化観光物産局長を起用することとし、その後任に松川 久和<sup>まつかわ ひさかず</sup> 文化観光物産局参事監（販売戦略担当）を登用すること
- ② 徳永 孝二<sup>とくなが こうじ</sup> 環境部長の勇退に伴い、その後任に立石 一弘<sup>たていし かずひろ</sup> 議会事務局長を復帰させ、起用し、その後任に溝江 宏俊<sup>みぞえ ひろとし</sup> 監査事務局長を復帰・出向させること
- ③ 監査事務局長に大串 祐子<sup>おおぐし ゆうこ</sup> こども政策局長を起用し、出向させ、その後任に平尾 眞一<sup>ひらお しんいち</sup> 島原振興局長を登用すること
- ④ 荒川 敏久<sup>あらかわ としひさ</sup> 水産部長の勇退に伴い、その後任に下山 満寛<sup>しもやま みつひろ</sup> 水産部政策監（政策調整担当）を起用すること
- ⑤ 新設の土木部技監に宮崎 東一<sup>みやざき とういち</sup> 土木部次長を登用すること
- ⑥ 山崎 直樹<sup>やまさき なおき</sup> 企画振興部政策監（離島・半島・コミュニティ対策担当）が勇退すること
- ⑦ 鈴木 高宏<sup>すずき たかひろ</sup> 産業労働部政策監（E V & I T S 推進担当）が東京大学へ転出すること
- ⑧ 新設の福祉保健部政策監（高齢者・障害者福祉担当）に杉光 正弘<sup>すぎみつ まさひろ</sup> 福祉保健部参事監（高齢者・障害者福祉担当）を登用すること
- ⑨ 祢宜 渉<sup>ねぎ わたる</sup> 農林技術開発センター所長が勇退すること
- ⑩ 教育委員会に新設される教育庁政策監（教育情報化担当）に

しまむら ひでよ  
島村 秀世 総務部政策監（情報政策担当）を起用し、出向  
させること

異動人員は、次のとおりであります。

	H 2 5	H 2 4
部長級	1 0 人	( 1 5 人)
次長級	2 7 人	( 1 9 人)
課長級	1 2 3 人	( 1 0 6 人)
課長補佐級	4 0 1 人	( 3 2 1 人)
係長級	6 0 9 人	( 6 1 6 人)
(役付計)	1, 1 7 0 人	(1, 0 7 7 人)
一般職員	1 4 7 人	( 1 5 9 人)
合 計)	1, 3 1 7 人	(1, 2 3 6 人)